



犬・笑・暮だより vol.52

そろそろ、予防接種のお便りが届きます ~狂犬病~



春は、花咲く気持ちの良い気候。そして、不快な花粉の季節。花粉症デビューの人も出たりと、鼻水や目の痒みに苦しんでいる人もたくさんいらっしゃることでしょ。しかも、急に暑いくらいの日があるかと思えば、次の日は真冬並みだったり、天候も不安定で、体調を維持するのがなかなか大変です。そんなこの時期、飼い主さんに行政から毎年届くお便り。そう、狂犬病予防接種のお知らせです。

狂犬病って、怖い病気なの？

日本では、すでに絶滅してしまっているといううわさもあるこの病気。「狂犬病」という名前から、犬特有の病気かと思ってしまうかもしれませんが、実はほとんどのすべての哺乳類に感染の可能性があります。ネズミ、タヌキ、こもり、等々。もちろん、人間も例外ではありません。

しかも、発症してしまうと100%の死亡率の怖い病気です。日本では、昭和32年を最後に発症が確認されていませんが、世界中では、毎年5万人以上の人が死亡しています。

2006年には、フィリピンで犬に噛まれ感染した男性が、帰国後に発症し、治療のきも無く亡くなっています。日本の港に寄港する外国船が犬を船の守り神としていたり、長い航海のパートナーとして犬を乗せていたりします。また、ハムスターやフェレットをはじめ、多くのペットが輸入されているなど、狂犬病ウイルスを持った外国産の小動物たちが、すでに入国している可能性も十分にあります。

狂犬病は、現在でも決して絶滅なんかしていないのです。

狂犬病の予防接種って、本当にやらなきゃいけないの？

もし、日本国内で感染している動物が発見されたり、渡航経験の無い人が発症してしまったりした場合は、きっと日本中がパニックになってしまうでしょう。このパニックを抑えるために、行政は、口蹄疫や鳥インフルエンザに対する措置と同等、あるいはそれより厳しい措置を行うのではないのでしょうか。

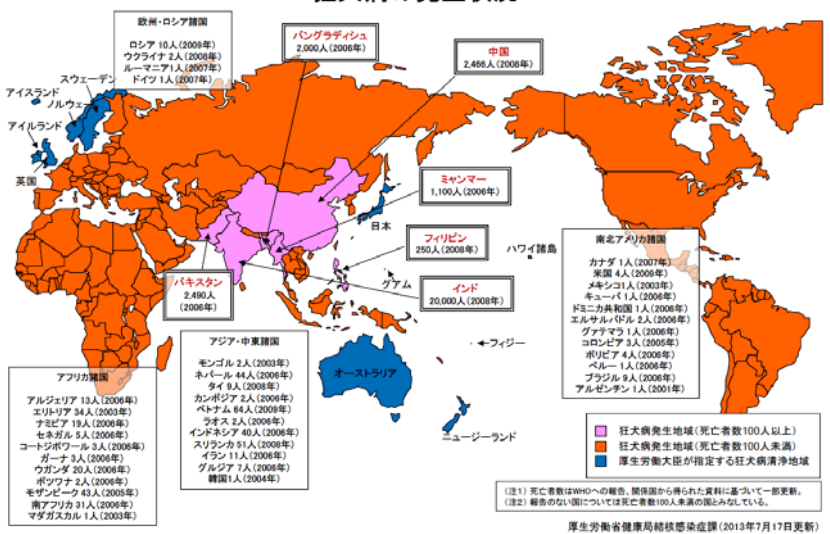
これだけ、恐ろしい病気だからこそ、日本では狂犬病予防法という法律で、接種を義務付けられているのです。愛犬の健康と命を守るのは、飼い主さん、あなたです。

行政からのお便りが来たら、忘れず接種に出かけましょう！

世界各地の狂犬病媒介動物



狂犬病の発生状況



厚生労働省HPより

(<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou10/>)



愛犬に関するお住まい・お庭のお悩みは **庭遊館** にお気軽にご相談下さい



庭園工事・外構工事・管理・設計施工

株式会社 庭遊館

〒504-0945 各務原市那加日新町6-65

TEL 058-216-3110

FAX 058-216-3113

<http://www.teiukan.jp>

